

郵便局数の推移(会社統合後の営業中の店舗)

2024年3月末

2024年3月末時点で会社統合時(2012年10月)から営業中の店舗の推移は以下のとおりです。

※ 2012年10月1日の郵便局数は会社統合により、統合前と比較して営業中の直営郵便局は25局増加しております。

	直営郵便局		簡易郵便局		合計	
		2012年10月1日からの増減		2012年10月1日からの増減		2012年10月1日からの増減
2012年10月1日	20,176		4,057		24,233	
2013年3月末	20,164	-12	4,066	+9	24,230	-3
2013年9月末	20,162	-14	4,068	+11	24,230	-3
2014年3月末	20,143	-33	4,081	+24	24,224	-9
2014年9月末	20,130	-46	4,072	+15	24,202	-31
2015年3月末	20,117	-59	4,065	+8	24,182	-51
2015年9月末	20,108	-68	4,045	-12	24,153	-80
2016年3月末	20,097	-79	4,029	-28	24,126	-107
2016年9月末	20,094	-82	4,011	-46	24,105	-128
2017年3月末	20,091	-85	3,978	-79	24,069	-164
2017年9月末	20,086	-90	3,966	-91	24,052	-181
2018年3月末	20,086	-90	3,947	-110	24,033	-200
2018年9月末	20,077	-99	3,932	-125	24,009	-224
2019年3月末	20,074	-102	3,879	-178	23,953	-280
2019年9月末	20,070	-106	3,860	-197	23,930	-303
2020年3月末	20,074	-102	3,815	-242	23,889	-344
2020年9月末	20,039	-137	3,788	-269	23,827	-406
2021年3月末	20,070	-106	3,742	-315	23,812	-421
2021年9月末	20,069	-107	3,725	-332	23,794	-439
2022年3月末	20,050	-126	3,676	-381	23,726	-507
2022年9月末	20,039	-137	3,642	-415	23,681	-552
2023年3月末	20,056	-120	3,589	-468	23,645	-588
2023年9月末	20,062	-114	3,541	-516	23,603	-630
2024年3月末	20,021	-155	3,491	-566	23,512	-721

区画整理や入居ビルの取壊しなどにより閉鎖および廃止

- 横須賀岩戸郵便局
- 小松ビル内郵便局
- 横須賀長浦郵便局
- 文京春日郵便局
- 島上郵便局
- 大宮宮町郵便局
- 名古屋雁道郵便局
- 筑紫野山口郵便局
- 西淀川千船郵便局
- 葛飾立石一郵便局
- 若菜郵便局
- 福井郵便局
- 中野小屋郵便局(ほか29局)
- (令和6年能登半島地震による一時閉鎖)
- グラン楠通り郵便局
- TOCビル内郵便局(ほか4局)
- 広島宇品神田郵便局

ほか 2013年度中に 4局、
2014年度中に 5局、
2015年度中に 1局、
2016年度中に 1局、
2017年度中に 6局、
2018年度中に 4局、
2019年度中に 0局

▲87局

需要の減少等に伴う店舗配置の見直しによる廃止

- 平鍋郵便局
- 作並郵便局
- 七座郵便局
- 福井西木田郵便局
- 鶴奥田代郵便局
- 甲府中央四郵便局
- 岡山中央郵便局(天満屋内分室)
- 高松塩屋町郵便局
- 中央佃郵便局
- 宇都宮一条郵便局

ほか2012年度中に10局、
2013年度中に14局、
2014年度中に21局、
2015年度中に11局、
2016年度中に 6局、
2017年度中に 4局、
2018年度中に 5局、
2019年度中に13局、
2020年度中に12局、
2021年度中に12局、
2022年度中に15局

▲131局

減少した直営局 合計286局

お客さまにより便利にお使いいただくための統合等

2012年度中に 2局、
2013年度中に 4局、
2014年度中に 1局、
2015年度中に 5局、
2016年度中に 2局、

▲14局

局種変更をして店舗を維持

2012年度中に 2局、
2013年度中に 8局、
2014年度中に 9局、
2015年度中に15局、
2016年度中に 7局、
2017年度中に 9局、
2018年度中に 2局、
2019年度中に 2局、
2021年度中に 1局

(うち3局は一時閉鎖中だったため、営業局数の増はなし。)

▲52局

事務移管に伴う廃止

2013年度中に2局

▲2局

郵便局の新設等

- ジアウトレット湘南平塚内郵便局
- 湘南モールフィル郵便局
- 高松多肥郵便局
- イオンモール熊本内郵便局
- 仙台錦ヶ丘郵便局
- イオンモール権原内郵便局
- 樋川郵便局
- あいら池島郵便局
- 福井高木郵便局
- イオンタウン鷹巣郵便局
- 麹町郵便局

ほか2012年度中に 1局、
2013年度中に10局、
2014年度中に10局、
2015年度中に 9局、
2016年度中に 8局、
2017年度中に 9局、
2018年度中に 6局、
2019年度中に12局、
2020年度中に10局、
2021年度中に10局、
2022年度中に12局

+108局

東日本大震災の影響により営業を休止していた郵便局の再開

- 双葉郵便局

2012年度中に3局、
2013年度中に2局、
2015年度中に1局、
2016年度中に2局、
2017年度中に5局、
2018年度中に1局、
2019年度中に1局、
2020年度中に2局、
2021年度中に3局、
2022年度中に2局

+23局

支社別の簡易郵便局数の増減

- 北海道支社 -42局
- 東北支社 -75局
- 関東支社 -33局
- 東京支社 -2局
- 南関東支社 -2局
- 信越支社 -43局
- 北陸支社 -38局
- 東海支社 -77局
- 近畿支社 -43局
- 中国支社 -82局
- 四国支社 -36局
- 九州支社 -95局
- 沖縄支社 +2局

▲566局

また、東日本大震災により一時閉鎖している郵便局数は以下のとおりです。

	直営郵便局		簡易郵便局		合計	
		前月末比		前月末比		前月末比
2024年3月末	27	±0	10	±0	37	±0